

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

北中道小	学校	児童数	46
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.52	18.71	34.76	38.21	49.67	9.45	147.25	24.75	51.96
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	12.38	18.10	36.23	31.90	30.29	10.21	131.76	11.48	46.60
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げが全国平均、大阪市平均を上回った。また、体力合計点が全国平均より0.57ポイント下回ったが、大阪市平均より0.83ポイント上回っている。女子はすべての種目において全国平均、大阪市平均を大きく下回り、体力合計点は、全国平均より7.32ポイントも大きく下回っている。男子、女子ともに握力が非常に弱い。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか。」では、肯定的な回答が男子が全国平均より2.8ポイント、女子は全国平均より4.7ポイント上回っていた。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均より2.2ポイント、大阪市平均より1ポイント多い。女子は全国平均より7.8ポイント。大阪市平均より4.9ポイント多かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、運動場が狭く、校区内の公園には十分に運動ができる環境がなく、体力向上には課題が多い。昨年度までは学校では運動場の使い方の工夫やジャンピングボードの設置など運動への関心を高め、機会を増やすことに努めてきた。しかし、今年度の途中から工事の関係で運動場がさらに狭くなってしまった。休み時間での遊び方に対しても制約をしなければ行けない状態であり、なかなか効果的な体力向上の取り組みができず、体育では運動量の確保を十分にできるように授業の内容を工夫するしかなかった。

休み時間の運動場の使い方を見直すなどして、児童へ遊びを通して運動への関心も高めるようにしてきた。一昨年度より運動への興味関心を高めるため、バランスディスクや投球トレーニング用品などの運動用具を整備し始め、ソフトボール投げにおいて効果が出始めてきている。今後は、運動への興味・関心を高めるとともに、体力向上に向けた取り組みを充実させていきたい。